

宮城県感染症発生動向調査情報

平成28年9月8日発行

— 2016.8.29～2016.9.4—第35週—

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第32週	第33週	第34週	第35週	
水痘	1 0.20	4 0.40	1 0.20				2 0.40	3 1.50	7 0.26	18 0.31	1,048				
流行性耳下腺炎	3 0.60	3 0.30	3 0.60	1 0.50	1 0.33				7 0.26	18 0.31	795	レ			
百日咳										0 0.00	19				
感染性胃腸炎	25 5.00	18 1.80	15 3.00	15 7.50	14 4.67	11 2.20			66 2.44	164 2.78	11,745	◎	◎	◎	◎
手足口病	26 5.20	47 4.70	2 0.40	2 1.00	4 1.33	9 1.80	11 5.50		100 3.70	201 3.41	950	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑					3 1.00	1 0.20			1 0.04	5 0.08	305				
突発性発しん	6 1.20	6 0.60	5 1.00		2 0.67	4 0.80	1 0.50		20 0.74	44 0.75	1,139	○	○	○	○
ヘルパンギーナ	9 1.80	28 2.80	59 11.80	28 14.00	31 10.33	35 7.00	13 6.50		198 7.33	401 6.80	2,385	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ						1 0.13				1 0.01	28,058				
咽頭結膜熱			2 0.40		1 0.33				4 0.15	7 0.12	661				
流行性角結膜炎										0 0.00	86				
急性出血性結膜炎										0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16 3.20	7 0.70	7 1.40				31 6.20		22 0.81	83 1.41	7,302	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)										0 0.00	8				
無菌性髄膜炎										0 0.00	4				
マイコプラズマ肺炎	3 3.00		1 1.00		1 1.00		1 1.00		2 0.40	8 0.67	260				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)										0 0.00	0				
RSウイルス感染症	15 3.00	7 0.70	1 0.20	1 0.50					55 2.04	79 1.34	465			○	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)										0 0.00	14				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	14	1	6	1	1	4		10						
	川崎病	1							1						
	不明発疹症								11						

◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意
○：発生または流行について、今後の情報に留意
レ：発生が少なくなっている傾向

2. 全数報告疾病

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核

石巻管内 男性1名、女性1名(第34週)、女性1名
塩釜管内 女性1名
大崎管内 男性1名、女性1名
気仙沼管内 男性1名(第34週)、女性1名(第34週)
栗原管内 男性1名
仙台管内 男性1名

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症(O26)

仙台管内 男性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O103)
登米管内 女性1名

4類感染症：レジオネラ症

塩釜管内 男性1名
仙台管内 男性2名

5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症(E.colocae)

仙台管内 男性2名
水痘(入院例)
石巻管内 男性1名

侵襲性肺炎球菌感染症

仙台管内 女性1名(第19週)

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

【ヘルパンギーナ】

塩釜・大崎・栗原・登米・石巻・仙台管内で警報継続中
気仙沼管内で警報値を超えた

【手足口病】

気仙沼管内で警報継続中
仙南管内で警報値を超えた

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

石巻管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

病原体の検出なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定		
	第32週採取分 (8.8～8.14)	中 間 報 告 第33週採取分 (8.15～8.21)	第34週採取分 (8.22～8.28)
RSウイルス	1件	2件	3件
アデノウイルス	1件	0件	1件
エンテロウイルス	1件	1件	1件
ライノウイルス	0件	2件	0件
サイトメガロウイルス	1件	2件	1件
パラインフルエンザウイルス3型	0件	2件	0件

※第32週よりRSウイルスが継続的に分離されています

4. 今週のコメント

【手足口病】

口腔粘膜および手や足などに現れる水泡性の発疹を主症状とした急性のウイルス感染症で、主に幼児を中心に夏季に流行がみられます。県内の患者報告数は、気仙沼管内のみで多い状況でしたが、今週、仙南管内でも警報値を超え、県内全域で増加傾向を示していることから注意が必要です。手足口病の原因となるウイルスはコクサッキーA16型およびエンテロウイルス71型が主であり、患者の咳、くしゃみなどの飛沫や便に排出されます。今後も患者の多い状況は継続すると考えられますので、手洗い、うがいなどの日常的な予防対策の他、患者の便の取り扱い等にも注意し、予防を心がけてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228

FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansan-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

